

# かごしま 市議会だより

2024 No.365

令和6年5月1日  
第1回定例会号

第1回定例会

## 令和6年度当初予算を可決



こいのぼりかざり（市立科学館）

### 目次

代表質疑から	2～4面
個人質疑から	5～6面
委員会から	6～7面
令和6年度の基本目標（政策）ごとの主な事業	7面
議案等に対する各党派等の表決態度	8面

### 市議会だよりに関する意見募集

○市議会だよりに関する市民の皆さまのご意見を募集します。

○パソコン、スマートフォン等の方は、市議会ホームページか右記の送信フォーム（二次元コード）、メール（seimuchousa@city.kagoshima.lg.jp）でお寄せください。

○郵送の方は、〒892-8677 山下町11-1 政務調査課宛にお寄せください。

編集・発行／鹿児島市議会

☎099-224-1111（市役所代表）

☎099-216-1454（政務調査課直通）

<鹿児島市議会ホームページアドレス>

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/gikai/index.html>

- 令和6年第1回定例会は、2月9日から3月18日までの39日間にわたって開かれ、令和6年度一般会計・特別会計・企業会計の当初予算（総額4966億6100万円）をはじめとする予算に関する議案26件、条例その他の議案47件、計73件の議案を議決しました。
- 【議決された主な議案の要旨】
- ▼鹿児島市重度心身障害者等医療費助成条例全部改正の件
    - ・重度心身障害者等の医療費助成金について、支給方式を自動償還払い方式に変更するとともに、支給対象者を見直すため、鹿児島市重度心身障害者等医療費助成条例の全部を改正し、あわせて関係条例の整理をするもの
  - ▼専決処分の承認を求める件（令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第6号））
    - ・低所得者支援補給付金支給事業
  - ▼鹿児島市言語としての手話への理解の促進及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定の件
    - ・言語としての手話への理解の促進及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進について基本理念を定め、市の責務並びに市民等及び事業者の役割を明らかにするとともに、市が推進する施策の基本的事項を定めることにより、障害の有無にかかわらず、全ての市民が相互に人格と個性を尊重し支え合う社会の実現に寄与するもの
  - ▼鹿児島市介護保険条例一部改正の件
    - ・令和6年度から8年度までの保険料率を定めるもの
  - ▼鹿児島市福祉事務所条例一部改正の件
    - ・福祉部と谷山福祉部の統合に合わせて、福祉事務所の統合を行うもの
  - ▼鹿児島市一般旅客定期航路事業使用料条例一部改正の件
    - ・船舶事業の経営の健全化を図るため、普通旅客運賃等の額を改定するもの
  - ▼令和6年度鹿児島市一般会計予算
    - ・7面の「令和6年度の基本目標（政策）ごとの主な事業」をご覧ください。
  - ▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
    - ・新川茂美氏
    - ・大園邦宏氏
    - ・田中絹代氏
    - ・清水ゆかり氏
    - ・山本茂樹氏

# 代表質疑から

第1回定例会では、6会派が代表質疑を行いました。その中から一部を紹介します。

本会議の様子は、インターネットで録画を放映していますので、ぜひご覧ください。  
(アクセス方法)  
市議会トップページ  
→ インターネット議会中継録画



## 市民連合 伊地知紘徳議員

### 多機能複合型スタジアム整備

**問** 本市の所有地で多機能複合型スタジアムの整備が可能な土地があるか。また、整備に向けた基本的な考え方は。

**答** 本市で整備が可能な未利用地はないことから、さまざまな場所を視野に入れて検討していく必要があると考えている。

なお、新たな候補地については、平成30年の提言等の趣旨に留意しながら、まずは一定の面積を確保できることや、交通アクセスなどの視点を念頭に、土地利用規制、周辺の環境等も考慮しつつ、県の協力を得ながら、可能な限り早期に選定を進めたいと考えている。

### ふるさと納税

**問** ふるさと納税推進に向けた今後の取り組みと令和6年度の見込みは。

**答** 今後は、新たに、食や特産品など本市魅力の認知度向上等を図るマーケティング推進事業を実施するとともに、企業への積極的なアプローチや情報発信などに取り組むこととしている。

6年度の寄付額は、個人版20億円、企業版1億6千万円を見込んでいる。

### 宅配ボックス設置補助制度の導入

**問** 宅配ボックス設置への補助制度が必要と考えるが、本市の姿勢は。

**答** 同補助制度については、再配達の防止につながり、CO<sub>2</sub>排出量の削減に一定の効果があることから、まずは、施策の効果検証や優良財源の情報収集などに取り組んでいく。

### 市営住宅の活用策

**問** 市営住宅の空き家状況と課題の認識は。

**答** 市営住宅の空き家の状況は、令和5年4月1日時点で1365戸、空き家率は12.4%である。課題としては、空き家対策として、随時募集の対象住宅見直しなどの取り組みを行ってきているが、応募者数が伸びないことなどがある。

**問** 近年の市営住宅の入居条件はどのように推移しているか。

**答** 平成22年度に、市内に住所または勤務場所を有することとした地域要件を削除し、25年度に収入基準の緩和に係る子育て世帯などの裁量階層対象者を拡充している。

**問** 若年世代の居住に向けた入居条件のさらなる緩和への取り組みは。

**答** 国の通知等を踏まえ、若年單身世帯の入居などについて、検討を行っていききたいと考えている。



市営住宅

### 学校プール共用化等検討事業

**問** 学校プール共用化等検討事業の背景と考え方は。

**答** プールの老朽化等による改築・維持管理費の増加などが喫緊の課題であることから、プールの維持管理費用等の削減に加え、専門的な指導による児童生徒の泳力向上、教職員の指導力の向上およびプール管理に係る負担軽減などの効果を幅広く検証するために実施するものである。



プールでの水泳学習

**問** プール授業に要する経費への見解は。

**答** 本市の学校プール設置校は15校で、施設修繕費を含む管理費は1校当たり年間約100万円、総額約1億2千万円となっていることから、経費の削減について検討する必要があると考えている。

**問** 他都市の事例で効果が見られるが、期待の持てる事業と考えるが見解は。

**答** 民間施設の活用については、多くが屋内施設であることから、天候に左右されない計画的な授業実施や、児童生徒の満足度の向上などが期待できるものと考えている。

### 学校規模適正化・適正配置への対応

**問** 陳情第37号「明和小・中学校の一貫校化の動きについて地域住民・団体が十分な議論をできる場を求めることについて」が市民文教委員会で不採択となったことへの

の市長の感想は。

**答** 地域まちづくり協議会等の要望書や学校運営協議会の文書により、地域の方々の相応の理解や合意が得られていることなども踏まえ、同委員会において適切に判断されたものと考えている。

**問** 令和6年度は、明和校区の小中一貫の義務教育学校の整備に向けた対応はどのように進めるのか。

**答** 今後は、義務教育学校設置の手続きを速やかに進めるとともに、それぞれの校舎の老朽化の状況を把握する中で、配置等を検討するほか、英語教育など特色ある教育の導入に向けて、地域まちづくり協議会や学校運営協議会等と一緒に取り組んでいく。

## 自民党市議団 山口 健議員

### 個人情報漏えい等問題

**問** 令和4年1月以降の個人情報漏えい等事案の件数は。

**答** 漏えい等事案は、個別公表としたものが25件、一括公表としたものが90件である。

**問** 漏えいが続いている現状と、原因に対する市長の見解は。また、個人情報漏えいゼロに向けた市長の決意は。

**答** 個人情報の漏えい等は、市政に対する市民の信頼を損なうばかりでなく、市民に重大な損害を生じさせる恐れもあり、あつてはならないものと考えているが、依然として漏えい等事案が発生していることを大変重く受け止めている。漏えい等事案の多くは、確認不足等の不注意によるものであることから、引き続き、職員の意識啓発の徹底を図るとともに、個人情報の取り扱いに係る業務の見直しなど、各面からの防止策を講じ、取り組んでいきたいと考えている。

## 鹿児島食肉センター

**問** 鹿児島食肉センターは平成15年度の民営化以降、無償貸し付けだが、仮に有償貸し付けだった場合の総額は。

**答** 同センターの令和5年度までの貸付料を固定資産税課税標準相当額などを用いて試算すると、総額で約22億4800万円となる。

**問** 民営化以降、施設改修をはじめとする本市からの設備投資総額は。

**答** 4年度までの20年間の総額は、約27億円である。

**問** 社会的影響も鑑み、施設の廃止や売却を検討すべきでは。

**答** 本市の関わり方や貸し付け方法などについて、事業者と今後も協議を続けていくことから、その内容や社会経済情勢の変化等を踏まえ、適切に対応していきたい。

## 船舶局の経営状況

**問** 桜島フェリーの運賃改定に至った経緯は。

**答** 徹底した経費削減策を講じてきたが、現行の運賃・料金制度では、資金不足比率が経営健全化基準を超え、経営健全化団体に陥ることが危惧され、将来的に事業運営の継続が困難となることが想定されるため、経営の健全化を図り、持続可能な事業運営を推進するため、運賃改定を行うこととした。



運航中の桜島フェリー

**問** 運賃改定による影響と今後の経営見通しは。

**答** 輸送量は、東九州自動車道等への車両流出が一定程度見込まれ、減少すると考えている。今後、改定による収益増や、一般会計からの新たな経営安定化補助金等により収支が改善し、また、交通事業債の活用等、財源確保に努めることで、経営計画期間内の資金不足が解消され、持続可能な事業運営の推進が図られると考えている。

**問** 船舶利用者全体の増加に向けた取り組みは。

**答** 桜島・錦江湾ジオパークをはじめとする桜島の魅力発信や、フェリーの利用が温室効果ガス排出量の削減に有効という環境優位性のPR、桜島におけるスポーツ大会・イベント等の誘致やクルーズ船乗客の二次交通活用などに取り組み、利用者増を図っていききたいと考えている。

**問** 桜島地域住民への運賃補助支援を一般会計で行うことは検討できないものか、見解は。

**答** 特定地域の住民のみを対象とした助成制度は、市全体としては不公平な行政サービスとなることから実施は考えていないが、これまでの経過等を勘案し、桜島地域住民の方々への一定の配慮を行ってきており、引き続き、市民、事業者、行政等が一体となり利用促進を図るとともに、交通事業者等との連携を深めながら公共交通の維持・活性化に取り組んでいきたいと考えている。

## 桜島学校

**問** 小中の8校が合併する本市として初めての義務教育学校となる桜島学校開校時の学級数、児童数、生徒数等の想定は。

**答** 各学年1学級で、前期課程6学年が210人、後期課程3学年が120人、合計で最大330人を

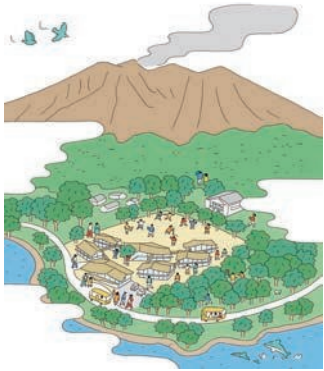
を想定している。

**問** 桜島地域外からの児童生徒の受け入れや市外からの受け入れをどのように考えるか。

**答** 同校においては、特認校制度を活用することで、市内に居住する校区外の児童生徒も通学可能とする予定である。なお、同制度は、市内居住の児童生徒にのみ適用されることから、市外からの通学は現時点では考えていない。

**問** 校名となった「桜島」にふさわしい特徴はあるか。

**答** 同校は義務教育の9年間を見据えた系統的な教育を行うこととしており、「桜島をまるごと学び舎」をコンセプトに、桜島全体を学びのフィールドとして、これまで行ってきた桜島大根づくりや、つばき油づくりのほか、火山・防災や観光などをテーマにした特色ある教育を検討している。また、桜島公民館の併設に加え、図書館や屋内プール等の開放などにより、地域の方々も共に学び、活動する拠点となる学校を目指している。



桜島学校 (イメージ図)

## 公明党

崎元ひろのり議員

**推進** 火山防災トッピング構想の

**問** 基礎自治体初となる火山防災研究所の設置を決断し、大規模噴火時でも犠牲者ゼロを目指す「火山防災トッピング構想」の

推進に臨む市長の抱負は。

**答** 桜島が「大正噴火級の大規模噴火に対する警戒を要する時期に入った」とされる中、令和6年1月に大正噴火から110年を迎え、火山防災対策への思いを新たにしたところである。

同研究所の設置により、本市の火山防災体制のさらなる強化はもとより、火山防災教育や情報発信の充実を図り、火山防災トッピングの実現に向けた取り組みをさらに加速していきたいと考えている。



噴煙を上げる桜島

**地域主体型コミュニケーション交通運行支援モデル事業**

**問** 地域主体型コミュニケーション交通運行支援モデル事業の内容と期待される効果、今後の展開は。

**答** 同事業は、地域が自主的に取り組むコミュニケーション交通の運行を支援するため、ボランティア運送を行う地域団体に対し、1地域団体当たり50万円を上限に、運行や安全確保に係る経費の一部を助成するものである。

期待される効果としては、公共交通を補完し、地域交通の利便性が確保されるものと考えており、試験運行の効果や公共交通への影響を検証した上で、本格運行への助成や必要とされる地域からの相談に応じていきたいと考えてい

る。

**言語としての手話への理解の促進等に関する条例**

**問** 言語としての手話への理解の促進及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例に基づく主な実施内容と期待される効果は。

**答** これまでの手話通訳者等の派遣や養成講座に加え、パンフレット作成や条例制定記念イベント開催による周知・広報のほか、新たに、手話通訳者の資格取得のための試験対策講座や盲ろう者向け通訳・介助員養成講座を実施するなど、意思疎通支援者の確保に向け、県や関係団体等と連携・協働しながら取り組んでいく。

これらの取り組みにより、言語としての手話への理解や、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進が図られ、ひいては、障害の有無にかかわらず、全ての市民が相互に人格と個性を尊重し支え合う社会の実現に寄与するものと考えている。

**動物愛護サポート事業**

**問** 動物愛護施策を推進する上で、協議会や基金の設置等による動物愛護管理センターの施設改善等に向けた道筋についての考え方や、市民と協働して「人と動物が共生する社会の実現」を目指す市長の抱負は。

**答** 動物愛護施策については、これまで、市民の皆さまや関係団体の方々から積極的にご協力をいただきながら取り組んできており、犬猫の収容数も減少傾向にあるとともに、令和3年度以降は、マニフェストに掲げた殺処分ゼロ

を維持している。

今後の動物愛護管理に関する方向性については、動物愛護管理センターの施設改善も含め、市民等の意見やニーズを把握しながら検討したいと考えていることから、6年度は、協議会を設置するとともに、施策の推進に向けた財源確保を図るため、基金条例の制定に取り組みすることとしており、「人と動物が共生する社会の実現」に向け、今後も引き続き、市民の皆さまと協働しながら、動物愛護管理行政のさらなる推進を図っていく。

**有害鳥獣被害対策事業**

**問** 有害鳥獣被害対策事業の令和6年度の取り組み内容と期待される効果は。

**答** 狩猟期間に農作物被害等が発生した際の捕獲活動を支援の対象に加え、新規な免許取得者に対する捕獲技術指導への支援などの新たな取り組みにより、有害鳥獣の個体数の調整が進み、農作物被害等の軽減につながることを期待されることである。

**フレンドルーム支援事業**

**問** フレンドルーム支援事業の目的と概要、別室支援との違いや期待される効果は。

**答** 同事業は、不登校傾向にある生徒の初期段階や、学校復帰の準備段階にある生徒に対応するため、3中学校にフレンドルームと呼ばれる校内教育支援センターを設置し、学習支援や教育相談を実施するものである。一部の学校で行われている保健室や職員室などでの別室支援とは異なり、新たに専用の教室を確保し、専門の相談

員を配置するもので、生徒が落ち着いて自分のペースで学習を行えることや、生徒の状況に応じた、より丁寧な関わりができるようになることにも、教員の負担軽減にもつながると考えている。



## 社民立憲

平山タカヒサ議員

**多機能複合型スタジアム整備**

**問** 本港区北ふ頭での多機能複合型スタジアム整備を断念することの政治的責任は。

**答** 検討の過程として、必要かつ有意義であったと考えており、これまでの調査や市議会の論議を十分踏まえる中で、引き続き整備に向けて取り組んでいく。

**問** 多機能も複合型も断念し、サッカースタジアムに特化した整備をするのか。

**答** 導入することが望ましい機能等について、候補地の面積等を勘案し、検討を進める必要がある。

**問** 令和6年度当初予算案に、多機能複合型スタジアム整備検討事業として、810万円を計上しているが、場所が白紙に戻ったことから、機運向上や先進地視察等の取り組みが整合性を持ちうるか。

**答** 市民・県民に丁寧な説明が必要なこと、継続して周知し、整備実現に向けた機運を高めていく必要があると考えている。

**マニフェストの見直し**

**問** 選挙においてマニフェストを掲げ、当選後その実現に向け政策を推進することは当然のことだが、中には情勢の変化を受け見直すことも考えられる。マニフェス

トを見直すことへの一般的な見解は。

**答** マニフェストは、一般的に選挙に当たって有権者に実行を約束するものであり、仮に方向性を大きく見直す場合は、丁寧な説明が求められると思われるが、その時々で社会情勢の変化を踏まえながら着実に推進されるものと考えている。

### 地域公共交通ネットワーク再構築検討事業

**問** 地域公共交通ネットワーク再構築検討事業の最終的な目的は。  
**答** 官民が連携して策定した利便増進実施計画に取り組みることにより、持続可能な交通ネットワークを形成するものである。

**問** 利便増進実施計画とは何か。  
**答** 路線網や公共交通の接続、ダイヤ等の見直しにより、利用者の利便増進に資する取り組みを交通事業者と連携して進めるための計画である。

**問** 交通結節機能や幹線・支線の基本的な考え方は。  
**答** 交通結節拠点では、中心市街地と地域生活拠点とを結ぶ幹線と、地域生活拠点と団地や集落を結ぶ支線が円滑に接続、機能し、利用者の利便性の向上が図られることが肝要であると考えている。



運行中の市バス

### 町内会デジタル活用促進補助金

**問** 町内会デジタル活用促進補助金の対象を電子閲覧板やオンライン

ン集金の導入等としている理由は。  
**答** 役員等の負担となつていて、閲覧板による情報伝達や戸別訪問による会費集金などにデジタルツールを活用することで、効率化や負担軽減が図られると考えている。

**問** 役員の高齢化に伴うデジタル・デバイス等の課題への対応は。  
**答** 同補助金の導入促進については、講師派遣に係る経費を補助の対象とするほか、市が実施する「スマートフォン操作講習会」等を活用検討していただく。

**問** 先行する町内会の取り組みを、他の町内会と情報共有することにしているのか。  
**答** 先行事例は重要な判断材料となるので、情報共有を図っていく。

### 児童相談所設置

**問** 児童相談所を県農業試験場跡地に整備する場合の付加機能の考え方は。  
**答** 近隣に子育て支援機能を持つ南部親子つどいの広場、母子保健機能を持つ南部保健センターがあることから、複合化は行わず単独での設置としたところである。

**問** 支所での相談等との連携は。  
**答** 各種相談は、原則として、児童相談所に来所し行うことになるが、相談者の状況によっては、児童相談所以外での対応が必要となる場合もあることから、今後検討していきたいと考えている。

**問** できるだけ早期に供用開始することへの見解は。  
**答** 今後は、令和6年度に用地取得、7年度に設計、8、9年度に工事を予定しており、着実に取り組みを進めていきたいと考えている。

### 災害廃棄物

**問** 災害発生後の廃棄物の処理計画

画は、どのようなになっているか。  
**答** 災害廃棄物の発生量を推計し、処理体制・方法等を盛り込んだ災害廃棄物処理実行計画を作成し、適正かつ円滑に処理を進める。



災害廃棄物処理

**問** 一時搬入場所の主な施設ごとの箇所数は。  
**答** 学校が119、公園が40、その他施設が25カ所となっている。

**問** 一時搬入場所に学校も指定されているが、学校は避難所や仮設住宅の建設地になることも想定される。庁内の調整は済んでいるか。  
**答** 避難所などで優先すべき他用途の利用状況等について、災害対策本部等と調整を図りながら最適な場所に開設することとしている。

### にじとみどりのぐち英一朗議員

#### スケートパークと磯ビーチハウス

**問** スケートパークと磯ビーチハウスをBMXやボルダリングなどアーバンスポーツの軸となるように整備していく考えは。  
**答** スケートボード等専用施設については、令和6年度に基本構想・基本計画を策定する中で、施設の内容と規模等を総合的に判断していく。

磯ビーチハウスは磯地域の活性化に資する施設になり得ると考えていることから、具体的な活用について、今後、検討を進めたいと

考えている。

### 八重山のクマタカの生息実態の把握

**問** 本市のクマタカの生息実態を独自に把握する考えは。  
**答** 本市の生物多様性の保全等に当たっては、クマタカなど絶滅危惧種をはじめとする生きものの生息・生育の状況把握が重要であることから、生物多様性地域戦略の策定に当たり、モニタリング調査等を実施したところであり、国や県とさらなる連携を図り、情報収集等に努めたいと考えている。

**問** 全ての指定管理者の賃上げ  
**答** 令和5年12月の産業観光企業委員会での指定管理者制度の運用見直しについての答弁を踏まえ、賃上げの動きは。

**問** 指定管理者制度については、同委員会以降、関係部局と情報を共有し、管理委託料に対する人件費の考え方を含め、他都市調査等を行っているところである。  
**答** 指定管理者制度については、同委員会以降、関係部局と情報を共有し、管理委託料に対する人件費の考え方を含め、他都市調査等を行っているところである。

### 公園の6項目禁止看板全面見直し



「公園利用のきまり」の看板

**問** ボール遊びができない、自

転車の練習ができないなど誤解と不評の多い公園の禁止看板を全面リニューアルする考えは。  
**答** 公園の看板は、利用者のマナー向上のため、標準的なルールを定め設置しているが、ボール遊びなどの公園利用に関する問い合わせもあることから、表示内容等について、今後、他都市の状況等を調査したいと考えている。

### 日本共産党 たてやま清隆議員

#### 市長選挙の寄付と市長の政治倫理を問う

**問** 政治家への寄付行為について市民から厳しい視線が向けられている。市長は、令和2年の市長選挙で鹿児島県商連政治連盟から10万円の寄付を受けているが、返金の有無と同団体の代表者は。今後、政治団体からの寄付を受け取るべきでないと考えているが見解は。  
**答** 同団体からの寄付は、関係法令に基づき適法に受領したものであり、返金していない。同団体の代表者は岩崎芳太郎氏である。今後とも、関係法令にのっとり対応していきたいと考えている。

**問** 岩崎芳太郎氏は、鹿児島商工会議所の会頭であり、市政運営と密接な関係にある者が代表を務める政治団体からの寄付は、政治的または道義的に批判を受ける恐れのある寄付である。今後、寄付は受け取らないと明確に答えるべきではないか。  
**答** 先ほども申し上げたとおり、今後とも関係法令にのっとり、対応していきたいと考えている。

### 北ふ頭スタジアム構想を白紙に戻した原因

**問** 多機能複合型スタジアム構

想について、「白紙に戻して再検討」を提言してきたが、市長が白紙に戻す決断をした原因は。また、新しい候補地は、桜島の火山活動の影響を最大限考慮すべきである、今後は本港区はないということか、市長の見解は。  
**答** 北ふ頭での検討は、令和5年6月に表明したが、本格的に協議を開始したのが表明以降となり、結果として関係者の了解を得るには至らなかった。本港区は時間軸の面で課題があると考えている。

### 重度心身障害者等医療費助成の所得制限の導入

**問** 県が重度心身障害者等医療費助成事業に自動償還方式を導入することに伴い、令和6年7月1日から所得制限が導入される。本市では約500人が助成の対象外となり、約5900万円の負担増となる。県は「市独自に助成することは市町村の判断による」と認めていることから、市独自に「所得制限なし」の助成事業を継続すべきと考えるが市長の見解は。  
**答** 本事業は県の補助事業であり、支給方式の変更や支給対象の追加等に伴い財政的な負担増が見込まれることから、本制度を持続可能で安定的に継続するために県が示した制度に沿って導入したいと考えている。



障害者手帳 (見本)



# 個人質疑から


第1回定例会では令和5年度関係の議案について1人、6年度関係の議案等について8人の議員が個人質疑を行いました。その中から一部を紹介します。

質疑者は次のとおりです。

- 大園たつや議員(日本共産党) 松尾まこと議員(公明党) 園山えり議員(日本共産党)  
 まつお晴代議員(社民立憲) 蘭田裕之議員(自民党市議団) 霜出佳寿議員(自民党市議団)  
 瀬戸山つよし議員(自民党市議団) 森山きよみ議員(社民立憲)

(掲載記事は質疑順ではありません。)

インターネット放映  
 (アクセス方法)  
 市議会トップページ  
 → インターネット議会中継録画



## 問

**スケートボード等専用施設整備検討事業**

スケートボード等専用施設



## 観光・スポーツ

### 令和6年度関係議案

また、精神障害者保健福祉手帳所持者が新たに対象となることから、関係部署間で連携を図り、丁寧な周知・広報など、適切に対応していきたいと考えている。

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 答

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 問

**重度心身障害者等医療費助成条例全部改正**



## 健康・福祉

### 令和5年度関係議案

「西郷どん」が放送されたことを踏まえ、大河ドラマを生かした観光活性化の認識は。また、島津義久公やその弟など戦国時代の鹿児島を舞台とした大河ドラマを誘致する考えはないか。

## 答

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 問

本市にゆかりのある人物が主人公となった大河ドラマとして、これまで「翔ぶが如く」「篤姫」

### NHK大河ドラマの誘致



スケートボードとBMX

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 答

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 問

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

### 平川動物公園と錦江湾公園の一体的活用策

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 問

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 答

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

### 個人住宅への雨水貯留施設等設置事業



## まちづくり



平川動物公園遊園地

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 問

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 答

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 教育

### 学校に通えない子どもたちの支援と居場所づくり

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 問

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

## 答

同施設は、スポーツを通じたまちづくりを進める中で都市の魅力の一つとして重要なコンテンツになるものと考えており、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備することで、若者に住み続けたいと思ってもらえるよう進めたいと考えている。

# 企画・財政

## 本市の人口減少・少子化の現状と対応

**問** 本市の少子化対策は子育て世帯の支援に力点が置かれており、出会いの機会の確保、若者や女性の雇用・賃金改善、男女格差是正の施策が進んでいない認識は。また、市長は人口減少に危機感を持って対応すべきと考えるが見解は。

**答** 少子化は、若い世代における未婚化・晩婚化の進行や15歳から49歳までの女性の人口減少などが主な要因と考えられており、経済的な不安定さや出会いの機会の減少などさまざまな要因が複雑に絡み合っているとされている。

このため、全庁的に総合的対策の推進が必要ことから、平成27年度にまち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に関する分野横断のプロジェクトチームを庁内に設置し、若者の就職・起業や出会いの場の提供、待機児童対策、女性活躍の推進などにそれぞれ目標値を定め取り組んでいるが、少子化が進行しており、さらに取り組みを推進する必要があると考えている。

これまで取り組んでいる施策を主体的かつスピード感を持ち展開し、今後においても社会構造の変化や多様化するニーズを的確に捉えつつ地方創生の取り組みをさらに加速させ、人口減少問題の克服を目指していきたいと考えている。

# 子育て

## AIマッチングシステム導入事業

**問** 婚活サポートに関する民間

サービスが充実する中、マリイサポートかごしま（市結婚相談所）においてAIマッチングシステムを導入を本市が独自に行う必要性と期待される効果は。



パートナーとの出会い

**答** 本市においても少子化が進行しており、その対策の強化は喫緊の課題であることから、結婚支援について、独自の取り組みを強化する必要があるものと考えている。

マリイサポートかごしまにおいては、以前から、プロフィールカードを自宅のパソコン等で閲覧できるようにしてほしいとの要望が多数寄せられていることや、同システムの導入は利便性の向上や出会いの機会の拡大を図る上で効果的であると考えていることから、今回導入しようとするものである。

AIによるマッチング機能の活用により、出会いの機会が広がることで登録者数や婚約成立数の増加が見込まれることから、出会いや結婚の支援の充実につながるものと考えている。

## 放課後児童支援員等の確保と処遇改善

**問** 各児童クラブにおける放課後児童支援員等の人員確保の現状と課題は。また、同支援員等の職務の重要性と処遇改善についての

認識と取り組みは。

**答** 各児童クラブ運営委員会では町内会などを通じた募集やハローワークへの求人申し込みなどを行っており、本市においても、市ホームページへの募集情報の掲載など支援を行っている。全クラブとも同支援員等の配置基準は満たしているが、クラブによっては、勤務シフト作成に苦慮している状況もあると伺っている。

同支援員等は、安心して過ごせる環境の整備と安全面への配慮を行うとともに、放課後等における児童の健全な育成に重要な役割を担っており、処遇の改善など、労働環境の整備に努める必要があると考えている。これまで、支援業務に関する研修の実施や、通勤手当の導入、報酬の見直しなどに取り組んできたところであり、令和6年度は、社会保険を導入するクラブへの社会保険料加算を新設するほか、支援業務の負担軽減等を図るため、ICTを活用した保護者連絡等のシステムの導入などを新たに行うこととしている。



児童クラブの日常

## 委員会から

### 重層的支援体制整備事業

**問** 重層的支援体制整備事業については、令和5年9月から試行期

間として、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに、関係機関や地域が連携して対応する重層的支援体制を整備し、一体的に取り組んでいるが、本格実施となる6年度はどのように取り組むのか。

**答** 地域住民から寄せられる相談の課題解決を目的に、市社会福祉協議会に委託して実施するアウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業に引き続き取り組むほか、お達者クラブ等の既存事業を活用し、交流の機会の確保などの地域づくり事業を進めていくこととしている。これらの取り組みは、支援が必要な方に対し、重層的な支援による解決を目指す重要な取り組みであることから、市社協と連携しながら、鋭意進めていきたいと考えている。

**問** 福祉に関する相談は、介護や障害などに関する既存の相談窓口などを活用して対応することに加え、地域住民が夜間や休日に相談が必要な際、日頃からさまざまな相談に対応している地域福祉館の果たす役割は非常に大きいと考えているが、今後どのように対応していく考えか。

**答** 同館は、地域住民からの相談を支援につなぐ役割を想定しており、連携を図る必要があると考えていることから、地域住民からの相談に対し、適切な対応が図られるよう、今後、民生委員や地域福祉館等に説明を行っていくこととしている。

## ICT活用による子ども見守り事業

**問** ICT活用による子ども見守り事業の概要は。

**答** 同事業は、希望する児童にICTタグを無償で配布し、ICTタグが見守りスポットを通過した際、位置情報や通過時刻が記録され、迷子や行方不明などの緊急時に迅速な対応を行うことができるサ

ビスであり、令和5年度は川上、八幡、谷山の小学校区で取り組んでいる。同スポットは、小学校区ごとに20カ所を設置しているものの、ICTタグの検知が可能な有効範囲が同スポットから半径50メートルであり校区全てを網羅していないことから、6年度は川上、八幡、谷山の近隣の3校区を対象に同スポットを設置し、面的な広がりが出ると期待したいと考えている。

**問** 同事業の効果については、既に位置情報の精度が高いGPS機能を利用できる各種端末等が普及しており、ICTタグを活用して事業を行う優位性が見受けられないことから疑問があり、6年度は近隣の小学校区まで対象を広げるとはいえ、同スポットの検知できない範囲内での検知しかできないことや、監査においても同様の指摘がなされていたことを踏まえると、改めて事業の在り方について検討すべきと考えるが見解は。

**答** 同事業は、CIO補佐官を含めたDX推進部と連携し、監査における指摘も踏まえる中で検討したものである。将来的には児童の安全確保のほか、地域による高齢者等の見守りや携帯電話などを持たない方を支える取り組みへの活用なども見据えているが、今後子ども見守りの効果を検証した上で、関係部局と連携を図りながら、事業の在り方について検討していきたいと考えている。

## 附帯決議

ICT活用による子ども見守り事業については、質疑経過等を踏まえる中で市民文教委員会として全会一致で附帯決議を付しました。

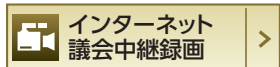
- 1 市民文教委員会に付託された第141号議案 令和6年度鹿児島市一般会計予算中、教育委員会関係のうち、(款)教育費(項)保健体育費(目)保健体育指導費の

## 議会中継をご覧ください

○本会議の様子をインターネットで配信しています。リアルタイムで視聴できる「生中継（本会議中のみ配信）」と、いつでも視聴できる「録画放映」があり、パソコンやスマートフォン、タブレット端末で視聴できます。

○録画放映は、生中継終了後4日程度（土・日曜日、休日を除く）でご覧いただけます。

○パソコンの方：市議会トップページ→



○スマートフォン、タブレット端末の方：右の二次元コードからお進みください。



※議会中継のホームページアドレスが変更となりましたので、お知らせ致します。

<https://kagoshima-city.stream.jfit.co.jp/>

市議会事務局政務調査課 ☎ 099-216-1454(直通)

「ICT活用による子ども見守り事業」については、審査の過程での指摘を踏まえ、事業展開や十分な事業効果など議会に対し説明がなされない限り、当該予算の執行については慎重に対応されたい。

2 委員会審査における当該事業に対する指摘が解消され、予算執行のめどが立った場合は、予算執行前に適宜適切に委員会に対し報告されたい。

## プラスチック資源循環推進事業

**問** プラスチック資源循環推進事業については、令和6年度は対象地区を2地区から8地区に、対象世帯を約2700世帯から約1万世帯に拡充し、リサイクル対象外としているプラスチック製品の資源化に試験的に取り組むこととしているが、ゼロカーボンシティがごしまの実現を目指す本市にとってCO<sub>2</sub>削減は達成すべき大きな課題であることを踏まえると、同事業の実証実験の検証を早急に行い、課題の整理を行った上で本格実施に向けて早期に取り組むことが重要であると考えるが、見解は。

**答** 5年度から実証実験を行っているが、プラスチック容器類とプラスチック製品を一括で収集し、県外の処理場まで運搬・処理する必要があるため、市全域で実施した場合には相当なコストがかかるという課題が明らかになったことから、6年度は、収集体制の検証と併せ、県外の処理場を使用しない方法を含めた処理体制の検証などを、対象世帯数を拡充した上でより詳細に行い、本格実施に向けて取り組んでいきたいと考えている。



ゼロカーボンシティかごしま  
ロゴマーク

## 多機能複合型スタジアム整備検討事業

**問** 多機能複合型スタジアムの北ふ頭での整備検討について、市長

が白紙撤回を表明し、状況が大きく変化したことを踏まえると、表明以前に編成された同スタジアム整備検討事業に係る予算については、計上の必要性も含め、改めて内容等を検討すべきではなかったか。また、スタジアム整備の今後の考え方について、当局の認識は。

**答** 同予算については、機運向上の取り組みに係る経費のほか、先進地視察や関係機関等との協議に係る旅費を計上しているが、整備候補地のいかにかわららず、スタジアムの早期整備に向けた取り組みを進める上で必要なものと考えている。

**問** 同予算については、整備候補地が選定されていない中で計上の必要性や執行の時期等についてさまざまな指摘がなされており、これまでの整備候補地検討の経緯を踏まえると、執行に当たっては、改めて内容を精査する中で、慎重に対応することが重要であると考えるが、当局の見解は。

**答** 同事業については、さまざまな指摘を受けたことから、機運向上の取り組みや先進地視察に係る予算の執行については、整備候補地の選定を最優先し、そのめどが立った段階で、状況を見ながら対応していきたいと考えている。

**多機能複合型スタジアム整備検討事業については、質疑経過等を踏まえる中で産業観光企業委員会として全会一致で附帯決議を付しました。**

### 附帯決議

1 多機能複合型スタジアム整備検討事業については、整備候補地

の選定を最優先し、諸般の状況を勘案しつつ各面から精査し、候補地のめどが立った段階で執行するなど、慎重に対応されたい。

## 渋滞対策の取り組み

**問** 慢性的な渋滞の発生により経済活動の損失など各面で非常に悪影響を及ぼしているのではないかと考えるが、渋滞による本市の経済損失の状況と、令和6年度の取り組みは。

**答** 平成30年の国の調査によると、本市における渋滞損失は、市民1人当たり年間約40時間となっている。また、県交通渋滞対策協議会において主要渋滞箇所位置づけられている本市域内の106カ所のうち、20カ所の市道において、既存道路を活用した渋滞緩和の取り組みを進めるため、主要渋滞箇所対策事業を実施し、交差点改良等を行うほか、渋滞対策を総合的に推進するための基本計画策定に向け、ハード・ソフト両面から、有効で実現可能な対策を検討することとしている。

**問** これまでも渋滞対策の取り組みを行っているにもかかわらず、渋滞解消には至っていない現状を踏まえると、令和6年度は国道や県道を所管する国・県とさらなる連携を図っていくことが重要であると考えるが、今後どのように取り組むのか。

**答** 同協議会において、国、県、本市それぞれの取り組み状況などについて情報共有を行っている。また、本市の基本計画の策定においては、5年度に行っている渋滞要因の分析などの基礎調査を基に、国や県、道路利用者団体等からの意見を踏まえ、取り組んでいきたいと考えている。

# 令和6年度の基本目標（政策）ごとの主な事業

## 1 信頼とやさしさのある 共創のまち 【信頼・共創政策】

- ・デジタルスマートシティ推進事業
- ・町内会活動活性化補助金
- ・マーケティング推進事業
- ・アジア太平洋都市サミット開催事業



## 2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち 【自然・環境政策】

- ・GXに向けた脱炭素モデル調査事業
- ・食品ロス削減マッチングサービス導入事業
- ・横井埋立処分場（2工区3期）整備事業
- ・甲突川千本桜再生プロジェクト事業



## 3 魅力にあふれ人が集う 活力あるまち 【産業・交流政策】

- ・大阪・関西万博を契機としたプロモーション推進事業
- ・かごしまクリエイター成長促進事業
- ・多機能複合型スタジアム整備検討事業
- ・磯新駅設置促進事業



## 4 自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち 【健康・安心政策】

- ・重層的支援体制整備事業
- ・手話言語・障害者コミュニケーション条例推進事業
- ・桜島火山防災研究所（仮称）設置準備事業
- ・客引き行為等対策事業



## 5 豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち 【子ども・文教政策】

- ・民間保育士等処遇改善補助金
- ・児童相談所設置事業
- ・桜島学校整備推進事業
- ・児童クラブタブレット学習支援事業



## 6 質の高い暮らしを支える 快適なまち 【都市・交通政策】

- ・加治屋町1番街区市街地再開発事業
- ・子育て世帯住替支援事業補助金
- ・相乗りタクシー実証実験事業
- ・歩いて楽しめるまちづくり推進事業



# 議案等に対する各党派等の表決態度

○賛成 ×反対

	件名	自民党市議団	社民立憲	公明党	市民連合	日本共産党	にじとみどり	無所属	結果
議案	<b>【令和5年度関係】</b> ▼鹿児島市重度心身障害者等医療費助成条例全部改正の件 ▼令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第7号） ▼鹿児島市手数料条例一部改正の件 ▼市道の認定及び廃止の件 ▼鹿児島市居住環境向上用途誘導地区内における建築物の制限の緩和に関する条例制定の件 ▼職員の給与に関する条例一部改正の件 ▼令和5年度鹿児島市特別会計・企業会計補正予算関係〔9件〕 ・中央卸売市場特別会計（第2号） ・国民健康保険事業特別会計（第2号） ・介護保険特別会計（第1号） ・後期高齢者医療特別会計（第1号） ・病院事業特別会計（第2号） ・交通事業特別会計（第3号） ・水道事業特別会計（第2号） ・公共下水道事業特別会計（第2号） ・船舶事業特別会計（第3号）	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
	▼専決処分の承認を求める件〔令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第6号）〕	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案	<b>【令和6年度関係】</b> ▼鹿児島市介護保険条例一部改正の件 ▼鹿児島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例一部改正の件 ▼令和6年度鹿児島市一般会計予算 ▼令和6年度鹿児島市特別会計・企業会計予算関係〔3件〕 ・国民健康保険事業特別会計 ・介護保険特別会計 ・交通事業特別会計	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
	▼鹿児島市一般旅客定期航路事業使用料条例一部改正の件 ▼鹿児島市職員定数条例一部改正の件 ▼令和6年度鹿児島市特別会計・企業会計予算関係〔3件〕 ・地域下水道事業特別会計 ・後期高齢者医療特別会計 ・船舶事業特別会計	○	○	○	○	×	○	○	
議案	▼鹿児島市言語としての手話への理解の促進及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定の件 ▼鹿児島市軽費老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例等一部改正の件 ▼鹿児島市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例等一部改正の件 ▼鹿児島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市福祉事務所条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定障害福祉サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定障害者支援施設等の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市障害福祉サービス事業の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市障害者支援施設の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市保育所条例一部改正の件 ▼鹿児島市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例及び鹿児島市婦人保護施設の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例廃止の件 ▼鹿児島市母校応援ふるさと寄附基金条例一部改正の件 ▼鹿児島市漁港管理条例及び鹿児島市風致地区内における建築等の規制に関する条例一部改正の件 ▼鹿児島市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例一部改正の件 ▼鹿児島市立病院職員定数条例一部改正の件 ▼鹿児島市交通局職員定数条例一部改正の件 ▼鹿児島市給水条例一部改正の件 ▼鹿児島市水道局職員定数条例一部改正の件 ▼鹿児島市船舶局職員定数条例一部改正の件 ▼鹿児島市特定都市河川浸水被害対策法施行条例制定の件 ▼鹿児島市消防団員等公務災害補償条例一部改正の件 ▼地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件 ▼組織機構の整備に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件 ▼職員の自己啓発等休業に関する条例制定の件 ▼鹿児島市職員に対する退職手当に関する条例一部改正の件 ▼包括外部監査契約締結の件 ▼令和6年度鹿児島市特別会計・企業会計予算関係〔8件〕 ・土地区画整理事業清算特別会計 ・中央卸売市場特別会計 ・桜島観光施設特別会計 ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 ・病院事業特別会計 ・水道事業特別会計 ・工業用水道事業特別会計 ・公共下水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	陳情	▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○
陳情	▼明和小・中学校の一貫校化の動きについて地域住民・団体が十分な議論をできる場を求めることについて	×	×	×	×	○	○	×	不採択

党派名	議員数	所属議員名	党派名	議員数	所属議員名		
自民党市議団	20人	西洋介 山下 要 中元かつあき 徳利こうじ	公明党	5人	こじま洋子 しらが郁代 松尾まこと 長浜昌三 崎元ひろのり		
		霜出佳寿 米山たいすけ 佐藤高広 蘭田裕之			市民連合	4人	合原ちひろ 伊地知紘徳 三反園輝男 片平孝市
		瀬戸山つよし わきた高德 奥山よしじろう 川越桂路			日本共産党	3人	園山えり たてやま清隆 大園たつや
		山口 健 古江尚子 仮屋秀一 柿元一雄			にじとみどり	2人	のぐち英一郎 大園盛仁
社民立憲	7人	志摩れい子 中島蔵人 平山 哲 入船攻一	無所属	1人	小森こうぶん		
		向江かほり まつお晴代 平山タカヒサ 中原 力			※上記党派名等、議員数および所属議員名は、令和6年第1回定例会時点におけるものです。		
		大森 忍 森山きよみ 秋広正健					

